

# ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2006年（平成18年）3月5日号 No. 1356

## 目次

●ロシア・ウクライナ・ベラルーシ —選挙とガスをめぐる三角関係—	A.マカルキン 1
●エトセトラ プーチン・ロシア大統領がG8サミットをにらみ論文発表／7	7
●ロシア新着企業情報	7
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定	8
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	8

### ロシア・ウクライナ・ベラルーシ —選挙とガスをめぐる三角関係—

政治工学センター 副所長  
A.マカルキン

#### はじめに

グルジアとウクライナで相次いで政変が起きたことを受け、CIS諸国は政治の季節に突入した感がある。昨年後半のアゼルバイジャンとカザフスタンの選挙こそ波乱なく終わったものの、CIS諸国の民主化の問題は依然として国際的な関心事となっている。そうしたなか、この3月19日にはベラルーシで大統領選挙が、同26日にはウクライナで議会選挙が実施される。CISの盟主であり、この両国とあらゆる面で密接なつながりのあるロシアの出方が注目されるところだ。折しも、昨年暮れから本年の初頭にかけて、ロシアのウクライナ向け天然ガス供給をめぐるスキャンダルが、国際社会を騒がせた。この地域においては、内政・外交がエネルギーをはじめとする経済問題と切っても切れない関係にあるだけに、一連の問題を正しい文脈で理解することが肝心であろう。

そこで、このテーマに関する卓抜したエキスパートであるロシアの「政治工学センター」のアレクセイ・マカルキン副所長に、モスクワで話を聞いた。今号では、そのインタビューの様をお届けする。